

## モンゴル近況 2018年5月

政治

1. U.Khurelsukh 首相はタバントルゴイ炭田開発に政治的意思決定を行う意向を表明した。
2. 政府とオユトルゴイ鉱山の間で追課税総額の議論が続いている。
3. 政府はオユトルゴイ事業の監査を開始した。
4. 民主党は金利条件設定（18%）法案を国会に提出した。
5. 大統領は国営タバントルゴイ社を国民が100%所有することを提案した。
6. オユトルゴイ投資協定及びその改定に関係した二人の元首相と元財務大臣の身柄を拘束した。

経済

1. 国際信用格付け会社は貿易開発銀行、ゴロムト銀行等の信用格付けを Caa 1 から B2 に引き上げた。
2. 米国のミレニアムチャレンジアカウントはモンゴルに3億5千万ドルの無償援助を提供する。
3. IMF 国際通貨基金の評価ミッションが来蒙した。
4. アジア開発銀行は250万ドルの無償援助を提供する。
5. エルデネスタバントルゴイ社は昨年1.1兆 Tg の石炭を販売し4611億 Tg の利益を得た。
6. 利益を国民に還元するため、250万人（子供を除く全国民）に一人当たり1072枚の株式に対する配当金を支給した。また国民が株式市場で売買できる準備を進めている。
7. 国民一人当たりの国内総生産は2015年780万 Tg、2016年790万 Tg、2017年870万 Tg と増加している。

社会

1. エルデネット鉱山権益51%を買収した民間企業がそれを担保に外国銀行から融資を不正に借入れた件の真相究明の作業部会が国会に設置された。
2. 中央下水処理場は中国政府からの融資で建設する。
3. 政府は大気汚染削減を目指し韓国政府の融資で改善燃料製造プラントを建設する方針を決めた。
4. 大気汚染削減委員会はゲルによる大気汚染（冬の石炭ストーブによる）を温水暖房の住宅に替える対策で3200億 Tg を貸付けを決めた。
5. モンゴル南東部のサインシャンド周辺にモンゴル最大出力(3万 kw)の太陽光発電所が建設される。
6. 保健分野における日・モ連携に関する覚書を締結した。
7. フシグト谷新国際空港は本年11月の開港を予定しているが事業費は2億7千万ドルと予定の3倍となった。運営については日本51%、モンゴル49%出資の合弁会社が30年行う運営契約を結ぶことになった。
9. 国税庁はオユトルゴイ社に対し1億5000万ドルの追税催告書を発行した。

教育文化

1. 国会は児童手当の80%給付法案または100%給付法案について審議を開始した。
2. 水資源利用について国会では2020年までに人口の8割（250万人）に対して品質の保証された飲料水（水道水）を供給する目標を立てたが、まだ100万人は品質の保証されない表流水や水運搬車による水を使っている。政府は今後、水利用の法制度、国政の実施の活性化に力を入れる。
3. 国会は知的財産登記庁を知的財産庁と登記庁に二つの機関として独立させることを決めた。

以上